

# 令和6年度（公社）砂防学会研究発表会「和歌山大会」

研究発表会「和歌山大会」実行委員会

令和6年度（公社）砂防学会研究発表会を、下記により開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます。（CPDに関するお問い合わせ先：砂防学会事務局 E-mail：sabo274@abox3.so-net.ne.jp）

## I. 令和6年度（公社）砂防学会研究発表会「和歌山大会」実施要領

1. 期 日 令和6年5月15日(水)～17日(金)

2. 開催方法 現地開催

(国際交流会のみオンライン併用)

会場：研究発表会

和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通 1-1）

和歌山県自治会館（和歌山市茶屋ノ丁 2-1）

和歌山県日赤会館（和歌山市吹上 2-1-22）

意見交換会

ダイワロイネットホテル和歌山（和歌山市七番丁 26-1）

3. 日 程 下記のとおりですが、今後変更することがあります。

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:30	19:30	21:30
5月15日 (水)	現地会場	受付	口頭発表	屋休憩	開会式 授与式	特別講演	学会賞 講演	テーマ別 セッション	ポスター 対面発表 コアタイム	移動		意見交換会		
		ポスター展示										行政・企業展示		
5月16日 (木)	現地会場	口頭発表	屋休憩	国際 交流会	口頭発表			優秀 発表 賞授 与式・ 閉会式						
		ポスター展示、行政・企業展示										17:30 和歌山県民文化会館発 田辺市内泊 ※宿泊先は各自でご用意ください(JR紀伊田辺駅付近)		
5月17日 (金)	現地研修会 (直轄砂防事業コース)	那智川流域（詳細検討中）												
	現地研修会 (世界遺産保全コース)	高野山（詳細検討中）												

※5月15日の「特別講演」は一般公開となります。

### 4. 現地研修会

現地研修会は、砂防学会正会員、学生会員および名誉会員に限定して大会3日目の5月17日(金)に行います。2011年の紀伊半島大水害による土砂・洪水氾濫に対する復旧対策を実施中の那智川流域における直轄砂防事業と2004年に世界遺産に登録された高野山を保全する和歌山県の砂防事業などを見学します。2コースそれぞれ40名（申し込み先着順）の規模で行います。詳しくは、後のIV.をご覧ください。なお、直轄砂防事業コース参加者につきましては、5月16日(木)の閉会式終了後、JR紀伊田辺駅までバスでの移動となります。

### 5. 開会式と砂防学会賞授与式、学会賞受賞論文発表会

大会初日の5月15日(水)午後1時から開会式を開催し、

令和6年度の砂防学会賞授与式を行います。同日午後3時から、砂防学会賞受賞者による受賞論文内容の発表を行います。

### 6. 特別講演（一般公開）

講師：久保榮子 氏

講演内容：紀伊半島大水害体験紙芝居

### 7. 申込方法と参加費

研究発表会の参加申し込みにつきましては、学会ホームページの参加申込受付システム（WEB申込）により行います。概要集掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申し込みを行って下さい。詳細は「V.」をご覧ください。WEB申込期間は令和6年4月1日～4月24日まで

です。

(国土交通省近畿地方整備局大規模土砂災害対策技術センター)

## 8. 研究発表会「和歌山大会」実行委員会

委員長	里深 好文	立命館大学教授	〃	鈴木 啓司	一般社団法人和歌山県測量設計業協会会長
委員	小杉賢一朗	京都大学教授	〃	西川 友章	国際航業株式会社
〃	中谷 加奈	京都大学教授	〃	白倉 誠也	国際航業株式会社
〃	高濱淳一郎	京都府立大学准教授	〃	伊藤 元洋	日本工営株式会社
〃	藤本 将光	立命館大学准教授	〃	江口 友章	アジア航測株式会社
〃	正岡 直也	京都大学助教	〃	山本 歩	アジア航測株式会社
〃	山野井一輝	京都大学助教	〃	小川 邦彦	八千代エンジニアリング株式会社
〃	木村 佳則	国土交通省近畿地方整備局河川部河川保全管理官	〃	鏡原 聖史	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
〃	藤村 直樹	国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所長	〃	中内 聡哉	株式会社東京建設コンサルタント
〃	中井 泰亮	林野庁近畿中国森林管理局計画保全部治山課長	〃	永田 葉子	国土防災技術株式会社
〃	森川 智	和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課長	〃	速見 智	株式会社建設技術研究所
〃	石橋 寛紀	和歌山県農林水産部森林・林業局森林整備課長	〃	平田 育士	株式会社パスコ
〃	竹下 航	国土交通省国土技術政策総合研究所	〃	酒谷 幸彦	(公社)砂防学会事務局長

## II. 令和6年度砂防学会研究発表会要領

### 1. 発表セッション

発表方法は、口頭発表とポスター発表があり、どちらも現地発表(対面形式)のみで開催します。発表申し込みの時点で、口頭発表もしくはポスター発表を選択いただきますが、**会場およびスケジュールの都合で発表形式の変更をお願いする場合があります。その判断は実行委員会に一任願います。**口頭発表のセッションでは、テーマ別セッションおよび一般セッションを設けます。テーマ別セッションは以下のとおりです。

#### 【テーマ別セッション】

##### (1) 砂防技術の国際展開

2023年6月に日本の支援により建設されたインドネシアの砂防技術事務所に天皇陛下がご訪問され、日本の砂防技術による国際貢献が改めて話題となった。行政を主体とする国際支援に加え、近年は多くの建設コンサルタントが海外展開を進めている状況にある。

本セッションでは、近年の国際協力・技術展開に関して、現状や課題、今後の方向性について議論する。

コーディネーター：水野 直人氏(八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部海外事業部 プロジェクトマネージャー)

##### (2) 世界遺産・歴史・観光資源と砂防

「高野山」、「熊野三山」、「吉野・大峯」の3つの霊場とそこに至る「参詣道」は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されている。紀伊山地では、世界遺産や地域の歴史、観光資源と調和を図りながら砂防事業が行われている。

本セッションでは、世界遺産、歴史、観光資源を抱える地域における砂防としての創意工夫した取り組みや歴史的価値が認められる砂防施設への対応などの事例を整理し、課題や今後の方向性について議論する。

コーディネーター：石田 優子氏(近畿大学工業高等専門学校 総合システム工学科 都市環境コース 教授)

##### (3) ハード対策の効果と限界

土砂災害に対して、砂防堰堤などのハード対策は有効である。一方、計画規模以上の災害時や除石が十分でない堰堤では土砂が流出する恐れがあることや、流れは停止させられないことは住民に認識されていないことが多い。期待される効果と必要な条件(規模、種類、配置、構成材料など)を示すとともに、被害が十分に軽減されない実事例や数値シミュレーション、水路実験等の結果を示しながら議論する。

コーディネーター：和田 孝志氏(鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科 准教授)

### 2. 発表者の資格

**発表者は、発表申し込み時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限ります(グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です)。**ただし、実行委員会が必要と認めた場合に限り、非会員も発表できます。なお、発表者とは口頭発表では登壇して発表するもの(1名)を指し、ポスター発表では会場にて質疑応答を行うもの(代表者1名)を指します。発表者としての件数は、テーマ別セッションを含めた口頭発表もしくはポスター発表のどちらか1件とします(発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません)。

### 3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土

砂災害対策と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限ります。

#### 4. 発表方法

口頭発表は現地会場において対面形式のみとします。ポスター発表も現地会場での対面形式となります。詳細は、砂防学会ホームページ「令和6年度（公社）砂防学会研究発表会「和歌山大会」」(<https://jsece.or.jp>)に掲載するとともに、発表者に連絡します。

#### 5. 発表申し込み（2月12日に終了しました）

本大会の発表申し込みは、すべて（テーマ別セッションも含む）原稿投稿システムによるオンラインで受け付けました。

#### 6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式（2MB以下）に変換して投稿して下さい。ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

提出期限は令和6年4月8日（月）です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

#### 7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学大学院農学研究科 正岡 直也  
e-mail : masaoka.naoya.7e@kyoto-u.ac.jp

### Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷・配布は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

#### 1. 原稿書体

原稿は原則としてMSワード等のワープロソフトで作成して下さい。

#### 2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15mm、下25mm、左20mm、右10mmを確保して下さい。1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

#### 3. 原稿枚数

2ページとします。1ページあるいは3ページ以上は受け付けません。

#### 4. 題名および氏名

題名および氏名は必ず発表申し込み時と同一にして下さい。（齟齬があった場合でもプログラムの修正は原則行いません）。題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名（連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける）を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1行あけて本文を書き始めて下さい。

#### 5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

#### 6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

#### 7. 文字の割付

句読点、（ ）、：、引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて、アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

#### 8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。  
章 1, 2, 3  
節 1.1, 1.2, 1.3  
節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

#### 9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

#### 10. 図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

#### 11. 原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は、PDF化ソフト（例えば、Adobe Acrobat等）を用い、フォントを埋め込んだPDFファイル（2MB以下）を作成して下さい。原稿にはページ番号を入れなさい。なお、PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

## 12. 原稿作成要領に関する問い合わせ

〒612-8235 京都市伏見区横大路下三栖東ノ口

京都大学防災研究所 山野井一輝

e-mail : yamanoi.kazuki.6s@kyoto-u.ac.jp

## IV. 現地研修会

砂防学会会員を対象に現地研修会を大会3日目の5月17日に行います。全2コース（直轄砂防事業コース：定員40名，世界遺産保全コース：定員40名）の規模で行います。

### 1. 参加資格・参加員数・集合・出発・時刻・参加費

- ・参加申し込みは砂防学会正会員，学生会員および名誉会員に限定いたします。
- ・参加申し込みは先着順とします。定員に達しましたら，以降のお申し込みをお断りすることがあります。また，お申し込みが非常に少ない場合には，中止の可能性ががあります。ご了承下さい。

#### (1) 直轄砂防事業コース

- ・集合地：和歌山県民文化会館正面
  - ・出発時間：5月16日17時30分（集合時間は出発時刻の5分前です）
  - ・参加費（税込み）：7,000円（参加人数によっては今後変更あり）
- ※田辺市での宿泊先は各自でご用意下さい（JR田辺駅周辺）。

#### (2) 世界遺産保全コース

- ・集合地：JR和歌山駅東口
- ・出発時間：5月17日8時20分（集合時間は出発時刻の10分前です）
- ・参加費（税込み）5,000円（参加人数によっては今後変更あり）

### 2. 主な行程と予定時刻

#### (1) 直轄砂防事業コース

- ・5/16(木) 17:30 和歌山県民文化会館 → 18:45 紀伊田辺駅 各自宿泊
- ・5/17(金) 8:30 JR紀伊田辺駅 → 11:00 熊野那智大社（駐車場から徒歩約20分）直轄砂防事業状況視察 → 12:00 大門坂駐車場到着（徒歩約5分）直轄砂防工事現場見学 → 12:20 和歌山県土砂災害啓発センター 啓発センター見学 → 13:00 勝浦漁港にぎわい市場 各自昼食 → 16:15 JR

紀伊田辺駅到着 → 16:50 南紀白浜空港到着

#### (2) 世界遺産保全コース

- ・5/17(金) 8:20 JR和歌山駅東口 → 10:00 高野山中の橋駐車場 奥之院見学・玉川砂防事業の見学 → 12:00 一の橋付近 各自昼食 → 13:30 高野山金剛峯寺前駐車場出発（一の橋付近から金剛峯寺前駐車場は自由行動・各自移動） → 13:45 南海高野山駅到着 → 15:20 JR和歌山駅到着 → 15:50 南海和歌山市駅到着
- ※ 天候，路面，現場や交通混雑の状況によっては，時刻が大幅に遅れる可能性があります。

### 3. 服装

- ・工事現場などを見学しますので，各自，適切な服装，靴等でご参加下さい。
- ・直轄砂防事業コース参加者のヘルメットは，現場事務所で準備します。
- ・雨具の準備は，各自でお願いします。

### 4. 手荷物

- ・各自，乗車バスのトランクルームをご利用下さい。貴重品の管理は各自でお願いします。

### 5. 雨天時の対応

- ・雨天等により当日中止となった場合，集合場所で連絡します。この場合の参加費の払い戻し等については，後日，学会事務局よりご登録のメールアドレスに連絡します。

### 6. CPD

- ・CPDは乗車後に配付します。
- ・CPD単位は2.0予定です。

### 7. 保険

- ・国内旅行傷害保険に加入します。

### 8. 保険

- ・現地研修会参加にあたっては，コロナ感染等の状況により感染対策をお願いすることがあります。

V. 令和6年度（公社）砂防学会研究発表会参加申し込みのご案内

1. 参加申し込み

参加の申し込みは、砂防学会ホームページから行って下さい（WEB申込）。WEB申込ページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も、WEB申込をして下さい。見積書、請求書はWEBサイトから出力できるようにいたします。クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい。

領収書は学会にて入金を確認した後にWEBサイトから出力できるようにいたします。

受付期間は令和6年4月1日(月)(予定)～4月24日(水)までで、コンビニ決済ならびに銀行振込の入金期限は5月3日(金)です。

参加費は下記のとおりですが、今後多少の増減があることをご了承下さい。3月下旬には確定しますので、詳しくは学会HPをご覧ください。

4月24日まで参加申し込みをされた場合

- ・研究発表会参加費（予定）
- ・正会員 7,000円
- ・非会員 10,000円
- ・学生 無料
- ・意見交換会参加費（予定、参加人数によっては今後変更あり）
- ・正会員 7,000円
- ・非会員 8,000円
- ・学生 1,000円

※参加費は5月3日(金)までに前納して下さい。なお、入金後に取消し等の返金はいたしません。

当日参加の場合

- ・研究発表会参加費（予定）
- ・正会員 10,000円
- ・非会員 13,000円
- ・学生 無料
- ・意見交換会参加費（予定、参加人数によっては今後変更あり）
- ・正会員 8,000円
- ・非会員 10,000円
- ・学生 2,000円

2. 申込締切日

令和6年4月24日(水)

3. 申し込み後の変更・取り消しについて

申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は、学会事務局までご連絡下さい。

E-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp

4. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡のために利用させていただく他、申し込みいただいた「令和6年度（公社）砂防学会研究発表会「和歌山大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

【申し込み・入金】

申し込みのステップ	内容
①砂防学会ホームページ	<a href="https://jsece.or.jp/">https://jsece.or.jp/</a> 「令和6年度（公社）砂防学会研究発表会「和歌山大会」」のページに、申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申し込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 ※送信後、自動返信で受け付け確認が送信されます。
③見積書・請求書	参加費の見積書および請求書は申込専用ページから出力できます。
④参加費のお支払い	クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい。銀行振込をされる場合の振込手数料は申込者負担となります。
⑤領収書および参加票	学会が入金を確認しましたら、申込専用ページから領収書および参加票（研究発表会）が出力できます。
⑥変更・取り消し	学会事務局までご連絡下さい。sabo274@abox3.so-net.ne.jp ※入金後の返納不可

※参加申込期間は令和6年4月1日(月)～令和6年4月24日(水)の予定です。

◆お問い合わせ先

「令和5年度（公社）砂防学会研究発表会」事務局 住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館A棟3階 公益社団法人 砂防学会 事務局 FAX 03-3230-6759 受付時間：月～金 10：00～16：00 ホームページ <a href="https://jsece.or.jp/">https://jsece.or.jp/</a> E-mail : sabo274@abox3.so-net.ne.jp
---

◆発表・参加申し込み模式図

